

## 令和2年度 各单位研究会事業計画



### 滋賀県公立小中学校事務研究協議会

#### 1. 第49回滋事研研究大会

大会テーマ 「創造しよう！ 教育を活かす学校事務を」

サブテーマ

～次世代の豊かな未来のために 踏みだそう 覚悟の一步を！～

ー地域とともにある学校づくり カリキュラムマネジメントー

(1) 期 日 令和2年11月13日(金)

(2) 会 場 滋賀県立男女共同参画センター

(3) 内 容 第1セッション(全事研岐阜大会分科会提案より)

第2セッション(パネルディスカッション)

ゲストスピーカー

上田 真弓 氏 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 課長補佐

風岡 治 氏 愛知教育大学教育支援専門職養成課程准教授



#### 2. 専門部活動

##### 研究部

「つかさどる」職としての事務職員の役割について研究を進め、一人ひとりの事務職員が実践できるよう取組を進めていきます。「マネジメント」「地域協働」の2つを大きなテーマとして、部員自身も実践を深めていきます。

これらを用いて、学校教育目標の達成に向け、「つかさどる」職としてどのように関わっていくことができるのかを探求し、私たちが主体的・積極的に学校運営に参画し、子ども達の成長を支えられるよう実証をしていきます。

##### 研修部

『学校のために事務職員として何ができるか「課題解決」から「創造」できる事務職員を目指す～自ら学ぶ意欲を持ち、積極的に参加できる楽しく有意義な研修～』を方針として、研修講座や初任者研修を実施します。また、年度当初の仕事内容などをまとめた「学校事務の仕事」を滋事研Webにアップしていきます。

##### 広報部

広報部では、滋事研の活動や会員による実践報告、学校事務に関する様々な情報を提供していく広報紙「さざ波」を年間2回発行し、滋事研Webを定期的に更新していきます。

「滋事研Web (<http://shijiken.com/>)」

##### 事務局

事務局では、滋事研webに掲載している「学校事務ハンドブック」等の内容更新に取り組みます。記載内容についても会員のみなさまが利用しやすいよう充実を図っていきます。「要覧しが」は、随時利用できるように滋事研webに掲載し、その他「会員名簿」「ダイアリー2020」の編集・データ配布を行います。



しゃくなげ

KYOTO

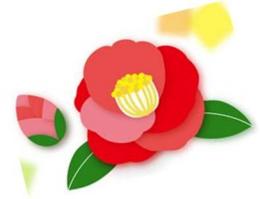


# 京都市立学校事務研究会

本研究会では、目指す学校事務職員像を明確にし、研究部・研修部・事務局・各支部が連携しながら研究会活動を進めています。

## 1. 目指す学校事務職員像

- 学校のマネジメントを推進する学校事務職員
- 教育行政職としての専門性を活かし実践していく学校事務職員
- 幅広い学校事務の領域と知見を持つ学校事務職員



つばき

## 2. 活動方針

- (1) 学校経営へ参画し、子どもたちの豊かな学びと育ちを支援する
- (2) 新しい学校事務組織の在り方を探究する
- (3) 自己の職能開発や学校事務職員の資質向上を推進する

## 3. 各部局活動方針

### (1) 研究部

研究会方針を受け、目指す学校事務職員像の具現化に向けて、どんなことを意識してどう取り組んでいけばよいかということを具体的に考えていきます。

教育行政職という立場で学校経営に参画し、財務運営を中心に教育環境の整備を図り、子どもたちの豊かな学びと育ちにつなげていくための実践・検証を深めていきます。

以下の4つの研究の柱に沿って、今年度も研究を深めていきます。

- ①小中一貫教育 ②業務改善 ③リーダーの育成 ④地域協働

### (2) 研修部

学校経営の中核を担う学校事務職員に必要な、教育行政職としての専門性を向上させる研修の充実を図るとともに、一人一人が校内での業務改善を進めていくために、効果的に活用できる資料の作成や現場での実践事例の検証などの取組を行います。

研修の形態は、新型コロナウイルス感染症に関する今後の状況を踏まえて検討します。

- ①学校教育を取り巻く状況を踏まえながら、学校現場のニーズや標準職務に即した実務の力をつけるための研修を行います。
- ②各業務に関する法的根拠の研鑽など、事務職員としての専門性の向上を目指す取組を行います。
- ③若手事務職員の育成や、各自のキャリアに応じた力の育成の充実を図ります。

### (3) 事務局

庶務的事項・事業的事項・広報的事項・財務的事項についての事業を円滑に行うための活動や充実した研究会活動を推進するため、各部や各支部等の連絡・調整を図ります。また、関係機関や他府県の研究団体等との連携を図り、会員に情報提供できるよう広報活動の充実に努めていきます。

## 4. 研究大会の実施

令和2年度 京都市立学校事務研究大会を開催します。

開催形態については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、12月中旬に集合形式ではなく、動画配信等オンラインの活用を検討しています。

# 大阪府公立学校事務研究会

今年度、大阪府公立学校事務研究会は研究大会（近畿地区公立小中学校事務研究大会（大阪大会）と同心円開催）をはじめ、各種研修講座の開催の実施を見送らせていただきます。

役員会・専門部につきましては、引き続き対外的な活動以外の研究会活動を推進していきます。



## 1. 研究部

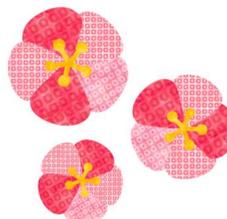
「事務職員は事務をつかさどる」となった2017年（平成29年）の学校教育法の一部改正や、2019年（平成31年）1月に出された「学校における働き方改革」の中教審答申などから、学校事務職員を取り巻く環境や職務内容は今後大きく変化していく可能性があります。今ある標準職務内容や共同実施の在り方についても、これからの時代にあつたものに見直していく必要があると考えます。

研究部は大阪の各市町村や全国の実践等の情報を集め、これからの大阪の学校事務の在り方や事務職員の職務について研究を積み重ねていきます。

## 2. 総務部

- (1) 研究会活動計画と具体運営計画
- (2) 関係機関、団体との連絡調整
- (3) 事業推進に必要な調査統計
- (4) 本会の活動の記録保存

Webページ <http://www.osaka-fujiken.jp/>



梅

## 3. 研修部

- (1) 体系的研修制度の研究を行います。
- (2) 次年度に向け、研修講座についてはアンケート内容の分析に努め、ニーズや今日的課題に即した内容となるように、またグループワークや事例演習を取り入れた参加型の講座となるよう工夫していきます。新規採用学校事務職員研修講座は、コミュニケーション力アップやチームワーク力アップをめざし、グループワークを取り入れた研修講座を企画していきます。

# 神戸市立小学校事務研究会



昨年度末に、会の運営のスリム化と効率化を図るべく会則を改正しました。各区幹事の選出方法を見直したり、毎月開催していた事務局会をなくしたりすることで、人数の少ない区の会員や役員の負担を軽減したのですが、折しもコロナの影響で予定していた総会や各区の活動も実施できず、2ヵ月ほど遅れてようやく新年度がスタートしたところです。

今年度より神戸市では、「学校事務職員」という呼称が「教育事務職員」に変更されました。職名はこれまでどおり「事務職員」で変わりはなく、採用区分名の変更ということなのですが、これまで3～4名であった教育委員会事務局への配置が、今年度はさらに5名が異動となり、計9名が学校から教育委員会事務局へ配置されています。これにより神戸市の教育行政や学校運営がより円滑になることを期待しているところです。

平成30年度から始まった事務職員の相互支援体制は、神戸市9区のうち5区まで拡大しました。それと共に、学校現場、特に管理職からは、相互支援と研究会とはどう違うのかと聞かれることも多くなってきました。引き続き、研究会でなくてはできない活動を深めていきたいと考えています。



あじさい

主な活動内容は次のとおりです。

- 〈総務〉 会員名簿作成、視察交流冊子の編集
- 〈研修〉 研修の企画・運営
- 〈広報〉 神小事だより発行・神小事会報の発行
- 〈企画〉 プロジェクト活動の募集・調整

今年度の研究大会については未定ですが、会員のみ参加する形で検討中です。

## 奈良県公立小中学校事務研究会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策に伴い、刻々と変わる状況への対応を迫られる中、本会では研修会並びに研究大会を中止といたしました。しかし、すべての活動を停止するのではなく、新しい運営の形態を模索しながら会員相互の連携を深め、資質向上を目指し研究を進めていきます。



### I 研究主題

「これからの学校経営を担う学校事務の探求」

- 子どもを主軸に教職員や保護者・地域等学校内外の関係者と連携を図りながら、学校事務職員の総務・財務の専門性を活かし主体的・積極的に学校運営に参画することで、子どもたちの笑顔あふれる学校づくりや地域コミュニティとしての学校づくりにおける「求められる役割」や「新たな役割」を探求します。
- 「学校事務の適正化・効率化」を図り、教育委員会との連携・協働を推進することにより、子ども支援・学校支援・資源の効果的活用につなげていきます。

### II 活動の柱

#### 1 支部活動の充実と交流

支部の独自性を尊重しながら、共通する取組についての連携や情報の共有化に努めます。

#### 2 専門部活動の充実

- ① 研究部：研究主題に沿って、子どもたちの笑顔あふれる学校づくりのために、日々の業務改善における気付きを教職員と協働することで「学校改善」につなげます。
- ② 広報部：機関紙の発行を通じて会員の交流、研究会内の情報共有を図ります。また、「学校事務の手引き」を編纂し学校事務の適正化・効率化を図ります。

### III 事業内容

#### 1 研究大会・研修会の開催

令和3年度に第47回奈良県公立小中学校事務研究大会を開催します。

研修会についてはG Suite等を活用した研修のあり方について検討します。

#### 2 新規採用事務職員フォローアップの実施

迅速で的確な事務処理能力、学校経営スタッフとしての自覚・責任・やりがいの意識付けを早期に行います。

#### 3 県校長会・教頭会・事務研究会合同会議における取組

校長・教頭・事務職員の三者の連携を大切に、調和の取れた学校運営と校内組織の一層の充実を図ります。

#### 4 グループウェア開設委員会

グループウェア運用開始に向けての諸業務を行います。

#### 5 グランドデザイン策定委員会

今後を見据えたグランドデザインの策定に向け研究します。



奈良八重桜

# 第9期調査研究部より



昨年度はお忙しい中、「学校における働き方改革」についてのアンケート調査への回答にご協力いただき、誠にありがとうございました。事務職員の皆様の働きかけのおかげで、管理職・教員の方々からも想定以上の回答をいただき、合わせて1000件以上もの貴重な回答をいただくことができました。

第9期調査研究部では近事研大阪大会での発表に向け、各地区で共通して出てきたテーマである「学校における働き方改革」について取り組んできました。最初に「学校における働き方改革」の推進に向けて「事務職員ができることは何か」を探ることと、会員の皆様にとっても働き方改革の手がかりとなることを目指して、普段一人で仕事をしているとあまり知ることができない他校や他の自治体の現況や取組についてアンケート調査を行いました。

続いてアンケート調査の分析・考察、皆様へ結果のフィードバックとして大阪大会のテーマ「笑いのまち大阪から楽しく語る学校事務」を踏まえての楽しめる退屈しない研究発表に向け準備を進めようとしていましたが、今期の調査研究部は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動を休止せざるをえなくなり、同時に近事研大阪大会も開催を見送られることとなってしまいました。

しかし、せっかくご協力いただいたアンケート結果の内容については皆様にお返ししたいと思います。調査研究部員がまとめた集計結果のデータを各单位研究会あてに送信させていただきますので、ぜひご覧ください。

第9期調査研究部として本来大会で発表しなかったものと違い、残念ではありますが、最初に「知る」ということも大切であるのかなと私自身思っております。学びにおいても、三識（知識・見識・胆識）という教えがあります。まず現状を知り、自身で何が必要になってくるかを判断し、実行・実践につなげていきたいと思っております。簡単な集計結果のみの報告となってしまいましたが、自校の教職員の皆様と共有し、今後の事務職員の実践や活動に、少しでもお役に立てば幸いです。



近畿公立小中学校事務職員研究会 調査研究部 部長

直井 義行 (大阪府)

部員

武田 遼祐 (滋賀県)  
戸田 怜奈 (滋賀県)  
北野 仁美 (京都市)  
井村 和作 (大阪府)  
喜納 里菜 (大阪府)  
高月 莉湖 (神戸市)  
但馬 美香 (神戸市)  
西田 清香 (奈良県)  
峯山 聖 (奈良県)

